

平成30年度
学校自己評価報告書

(令和元年6月28日作成)



学校法人野上学園
東京ブレイメン動物専門学校

○ 学校自己評価実施要項

1、 学校自己評価確認事項

(Ⅰ) 教育理念・教育目標

(Ⅱ) 学校運営

(Ⅲ) 教育活動

(Ⅳ) 学修成果

(Ⅴ) 学生支援

(Ⅵ) 教育環境

(Ⅶ) 学生募集

(Ⅷ) 財務

(Ⅸ) 法令等の遵守

2、 実施方法

(Ⅰ) 学校に学校自己評価委員会を設置し、教職員が連携して評価活動を行う。

(Ⅱ) 評価は、学校自己評価委員会が作成した評価表に基づいて行う。

(Ⅲ) 評価結果は、学校関係者評価委員会において評価項目の達成度についての点検を行う。委員会での点検をもとに各事項についての分析・考察を行い、今後の課題と改善策を示した報告書を纏め、HP等で公開し、教育活動・学校運営の質向上をはかる。

I. 教育理念・教育目標

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

自己評価項目	4	3	2	1
1 教育理念・教育目的は、学校の教育上の特徴を示しており、かつ、法との整合性がある。		○		
2 教育理念・教育目的は、学生にとっての学修の指針となるように具体的に明示され、実際の指針となっている	○			
3 教育理念・教育目的は、各専門職についての考え方を明示している。	○			
4 技術者としての質を確保するため、どのような教育内容・教育方法、教育環境を整えようとしているかが述べられている	○			
5 各学科の教育・学生観について、教員の教育活動の指針となるように明示され、実際に指針となっている		○		
6 教育目標は、設定した教育内容を網羅している。かつ、卒業時の学生の到達度が明示されている。	○			
7 教育目標は、設定意図が明確であり、教育活動の指針となっている。	○			
8 教育目標は、実現可能であり、学生や社会の人々が理解できるものである。		○		

II. 学校運営

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

自己評価項目	4	3	2	1
1 教育理念、教育目的、教育課程経営、教育評価および学校の管理運営に関する管理者の考え方が明示されている。		○		
2 教職員は、設置者と管理者の意志・指針を理解している。	○			
3 組織体制は、教育理念・教育目的を達成するために意思決定システムや権限、役割機能が明確である。	○			
4 組織構成員の意志の反映や、決定事項を周知できるようにシステムを整えている。		○		
5 組織の構成と教職員の任用の考え方と、教育理念・教育目標達成との整合性がある。	○			
6 教職員は、学校がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解している。		○		
7 それぞれの観点から財政についての教職員の意見を経営・管理過程に反映できるようになっている。		○		
8 教育・学習活動に関する関係者(保護者等)への情報提供を行うことによって、その協力支援を得ている。		○		

Ⅲ. 教育活動

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

自己評価項目	4	3	2	1
1 学校長ならびに教職員は、教育理念・教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っている	○			
2 学科の専門領域の内容について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している	○			
3 編成した科目は、各人材を育成するのに妥当であり、かつ学校の特徴をあらわしている。	○			
4 学修の到達について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している	○			
5 明確な考え方と根拠をもって科目・単元を編成している	○			
6 教員が専門性を発揮できるように、教員の担当科目と時間数を配分している。		○		
7 科目評価の基準は、各技術者に必要な学修を認めるものとして妥当である。	○			
8 教員が授業準備のための時間をとれる体制を整えている。		○		
9 外部指導者と教員の協働体制を整え、定期的に打合せ会議を開催している。		○		
10教育課程の実践者である教員が自ら成長できるよう、自己研鑽システムを整えている。		○		

Ⅳ. 学修成果

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

自己評価項目	4	3	2	1
1 就職率の向上が図られている。	○			
2 資格取得率の向上が図られている		○		
3 退学率の低減が図られている			○	
4 卒業生の就業先での評価を把握するために、就業先との情報交換や調査ができる体制を整えている。		○		
5 卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理して、教育理念・教育目的・教育目標、授業の展開に活用している。		○		

V. 学生支援

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

自己評価項目	4	3	2	1
1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。		○		
2 学生相談に関する体制は整備されている。		○		
3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	○			
4 学生の健康管理を担う組織体制はある。		○		
5 学生の生活環境への支援は行われている。		○		
6 保護者と適切に連携している。		○		
7 卒業生への支援体制がある。		○		
8 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われている。		○		

VI. 教育環境

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

自己評価項目	4	3	2	1
1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている。		○		
2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備している	○			
3 防災に対する体制は整備されている。	○			

VII. 学生募集

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

自己評価項目	4	3	2	1
1 学生募集活動は、適正に行われている。			○	
2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられている。		○		
3 学納金は妥当なものとなっている。	○			

VIII. 財務

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

自己評価項目	4	3	2	1
1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえる。	○			
2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。		○		
3 財務情報公開の体制整備はできている。	○			

IX. 法令等の遵守

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

自己評価項目	4	3	2	1
1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。	○			
2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。		○		
3 自己評価の実施と問題点の改善を行っている。	○			

